
持続可能な水産養殖のための種苗認証

Seedlings Council for Sustainable Aquaculture

(SCSA 認証)

審査報告書

クライアント名
株式会社ツナドリーム五島

日付 : 2018 年 6 月 28 日

認証機関名
ビューローベリタスジャパン株式会社

目次

1. クライアントに関する情報	3
2. 審査機関に関する情報	3
3. 審査結果要旨	3
4. 全般的な所見	4
5. 推奨する今後のプロセス	6
6. 付属書	6

1. クライアントに関する情報

クライアント名	株式会社ツナドリーム五島 (契約番号 4201613)
クライアント ID	種苗生産者認証番号 : BV-TD-OR-0002 養殖生産者認証番号 : BV-KU-FA-0003 (近大産種苗の出荷時に使用) BV-TD-FA-0003 (ツナドリーム産種苗出荷時に使用)
所在地	長崎県五島市玉之浦町荒川字白泊 901-1
認証範囲	【メンバー】 株式会社ツナドリーム五島 【活動】 人工種苗生産、養殖 【拠点】 長崎県五島市玉之浦町荒川字白泊 901-1
認証魚種	マダイ Japanese red seabream (<i>Pagrus major</i>) クロマグロ Pacific bluefin tuna (<i>Thunnus orientalis</i>)
会社概要	株式会社ツナドリーム五島は、長崎県五島市に所在する株式会社である。豊田通商株式会社の 100%子会社として、2010 年に設立された。 完全養殖クロマグロの種苗生産、中間育成に特化してスタートし、人工種苗の量産化、品質向上を目指し事業推進している。近畿大学との連携、豊田通商の管理手法導入により、実績を上げている。クロマグロ以外の魚種も手がける。

2. 審査機関に関する情報

審査機関名称	ビューローベリタスジャパン株式会社
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 18 番地 KRCビル 8F
審査チーム	
佐久間 智恵子	主任審査員
審査日	2018 年 4 月 16 日 (月) ~ 20 日 (金)
審査の種類	初回審査

3. 審査結果要旨

審査規格	持続可能な水産養殖のための種苗認証(SCSA 認証) 原則と基準 ver.1.3
結果	

不合格	10件 (全て解除済み) 2.1.1.2 / 2.1.2.1 / 2.1.2.2 / 付記 / 2.2.1.5 / 2.2.2.4 / 5.1.4 / 7.1.1 / 7.1.4 / 7.1.6
条件付合格	5件 1.1.2.1 / 1.1.2.3 / 1.2.2 / 2.1.1.3 / 2.1.2.3
推奨事項	1件 (解除済み) 6.1.2
認証単位	認証範囲参考
所有の動き	- ツナドリーム五島所有の受精卵あるいは購入した受精卵からの種苗生産 → 種苗販売 - 種苗生産 → 養殖 → 成魚販売
CoC への接続点について	種苗の販売・・・育成した種苗の販売 活魚船による納品 ヨコワの販売・・・育成した種苗を養殖したヨコワの販売 活魚船による納品 成魚の販売・・・育成した種苗を養殖した成魚の販売 締め処理後梱包して納品

4. 全般的な所見

全般的な所見	
I. 種苗生産者、養殖業者に対する原則と基準	
1. 種苗	株式会社ツナドリーム五島は、近畿大学から受精卵あるいは種苗を購入し、種苗生産、養殖を行う。クロマグロは受精卵あるいは稚魚で入荷し、マダイは受精卵で入荷する。 給餌、投薬を含む飼育情報は、システム上にある記録帳票に、魚種、水槽、漁場、生簀ごとに時系列で記録している。水槽、生簀の分割、統合、死亡魚数、水温・DO等の観察情報も記録され、生産履歴情報が確認できる状況であった。 親魚のDNA鑑定のためのサンプル冷凍保存は、今後開始する予定であった。
2. 対象人工種苗飼育管理	種苗生産、養殖とも、先述のように魚種、水槽、漁場、生簀ごとに管理がなされ、飼育記録が入力管理されている。水槽、生簀の分割、統合も明確に管理され、最新の情報が常に確認できる状況である。死亡魚数を含め、尾数情報も記録されている。 近畿大学が人工種苗から生産した種苗の養殖も行う。入荷時には近畿大学が生産した人工種苗は分けて管理するが、これまでは飼育あるいは出荷の際に別のロットとあわせることがあった。ツナドリーム五島は、SCSA認証の要求事項に基づき、異なる種苗生産者の人工種苗は混在しない手順を構築した。 水産用医薬品は、適切に管理された上で使用していることを確認した。水産用医薬品の購入、投薬記録も、飼育記録に全て情報が入力されている。 近畿大学の研修に参加し、飼育管理やへい死減少の方法などの研修を受け、実

	<p>践に活かしている。</p> <p>種苗育成から養殖、出荷に至るまで、ストレスや損傷を極力抑え、魚類福祉の考え方をもち適切な環境での飼育を実施している。種苗生産・養殖を行う海上施設は、飼育状況をよく観察できるしくみが施され、飼育担当がよく観察し状況を把握していた。</p> <p>不明魚率はマダイ、クロマグロとも要求事項を下回り、問題のない管理状況を維持していると判断できる。残存尾数のカウントを行うタイミングで、管理簿との数値の差異がある場合は記録をしている。</p>
3. 環境配慮	<p>漁場環境は養殖に適しており、水温、DOなどの情報も記録し変化を認識できる状況であった。</p> <p>逃亡管理として、ジャンプネットや天井網の設置、潜水土による網破れの確認がなされていた。</p> <p>陸上種苗生産施設と海上での種苗生産ならびに養殖施設があるが、陸上施設の浄化槽点検は実施されており、適切な管理がなされていた。</p> <p>海上における水質調査は、県や他事業者と連携し定期的実施されている。必要な水質情報を入手し、養殖管理がされていると判断できる。</p> <p>死亡魚は、冷凍保存の上定期的に五島漁業協同組合が回収し、適切に処理がされていた。</p>
4. 飼・餌料	<p>生物飼料、配合飼料、生餌を使用する。魚種や成長段階により判断し、飼料供給先から購入している。購入記録、給餌、栄養剤等の使用記録は、記録されていた。</p> <p>給餌改善目標を設定し、担当者に情報伝達を行っていた。</p>
5. 食品安全	<p>海上施設の水質管理は、日々の計測で変化を確認し記録している。水質の向上のため、海藻・二枚貝の育成も行っている。</p> <p>出荷時の取り扱いでも、短時間での処理や劣化させないための方法を取り入れ、衛生面に意識した運用を行っていた。</p>
6. 安全衛生・労務管理	<p>安全については、豊田通商の管理基準をツナドリーム五島でも導入しており、安全活動計画に基づき実施、管理がなされていた。豊田通商の監査も受けており、安全面において適切に実践できている状況であった。</p> <p>労働環境も適切に管理がなされている。児童労働、強制労働、拘束、差別などもなく、ハラスメントに対するしくみも構築されていた。男性が多い職場であるが、女性職員からの聞き取りで差別やハラスメントが無いことが確認できた。</p> <p>毎日従業員全員で朝礼を実施しており、詳細事項を含む管理全体について情報共有が徹底してなされていた。</p>
7. 社会経済的側面	<p>法令順守の下、地域社会や利害関係者と良好な関係を維持し、養殖事業を実施している。行政や関係する事業者、地域への協力も積極的に行っている。</p> <p>SCSA 認証の社会的な意義を認識し、組織として積極的に取り組む姿勢が見られた。</p>

その他.
特に無し。

5. レビュー及び認証決定プロセス

審査レポートの確認と認証決定	
クライアントレビュー	2018/6/28 ~ 2018/7/10 + 2018/7/30
ピアレビュー	2018/8/1
パブリックコメント	2018/8/8
認証決定	2018/8/17 佐藤 賢也
認証有効期限	2023/8/16

6. 推奨する今後のプロセス

推奨する今後のプロセス	
初回審査	2018年4月実施
第一回年次審査	2019年2月～4月に実施
第二回年次審査	2020年2月～4月に実施
第三回年次審査	2021年2月～4月に実施
第四回年次審査	2022年2月～4月に実施
再認証審査	2023年2月～4月に実施

7. 付属書

付属書
付属書 1：原則と基準チェックリスト（チェック結果）

8. クライアントレビューフィードバック

2018/4/dd ツナドリーム五島フィードバック
【ツナドリーム五島】 誤字や表現の修正依頼
【BVJ】 誤字や表現の修正を実施